

首切り撤回・原職奪還を貫け

6・17 国労臨時全国大会

清算事業団闘争 「切り捨て」に怒り続出

和解方針に不満、批判続出

六月十七日、国労臨時全国大会が東京・日教組会館において開催された。国労中央は、今大会において、清算事業団闘争、そして地労委闘争についての路線転換、「全面解決要求をめぐす当面の闘争方針(案)」を提案した。

この「当面の闘争方針」とは、清算事業団闘争の原則である首切り撤回、原職奪還をなげすめて組合の名をもって首切りを認めてしまふものである。すなわち「全面解決」「和解」である。清算事業団闘争をやめて当局と「和解」のテーブルについてだれを首切るかだれを残す(本州への広域採用)かを話し合ひできめようとする屈服方針そのものである。同時に清算事業団闘争を金、「和解金」「二百二億損賠の取り下げ」と取り引きしようとしていることである。

大会当日も、北海道や九州の清算事業団分会が多数参加し、代議員や傍聴者にたいして「方針(案)」「反対のピラをまいた。同時に、全国の各分会が職場討論による「方針(案)」「批判のピラをまいた。国労共闘も、和解絶対反対、首切り撤回、原職奪還を訴えるピラをまいていた。

国労本部は、このままでは大会がのり切れなるとみるや、「方針(案)」の字句を修正した内容の議案を提出せざるをえなかった。しかし国労本部は清算事業団組合員の批判の声を切りすて和解方針を強引に決定してしまつたのである。

この「方針(案)」が下部討論におろされたが北海道と九州そして本州の清算事業団組合員を中心に批判、不満が続出した。

「なぜ突然、地労委命



首切り撤回こそ「連合」をうち破る道

動労千葉は、この不屈にたたかいぬいている清算事業団国労組合員と共に、わが十二名の清算事業団組合員を先頭に首切り撤回、原職奪還をかかげ全力でたたかいぬく。

「和解」は、「連合」は右翼労働統一の道である。首切り撤回闘争をあくまでつらぬき、「連合」をうち破ろう。そして、首切りの先兵・革マル鉄道労連を解体しよう。

団結地引網大会のご案内

新緑の候、いかがお過ごしでしょうか。さてこの度、動労千葉は、結成十周年を記念して、組合員と御家族・OBの方々の親睦のために、地引網大会を開催いたします。楽しい一日を過ごしたいと思いますので、ぜひこぞって御参加下さい。

行き方	外房線 茂原駅より徒歩15分	7月9日(日)	9時より	九十九里	浜海岸
	白子車庫約11時07分			一松	の家
	乗取駅約8時09分			海	の
	時間 9時40分				
	※ 駐車場あります				